グループホーム鹿野苑　２月運営推進会議　議事録

（コロナ感染症対策のため書面で実施）

所　　属	氏　　名	出 / 欠	家族代　A 棟	[redacted]	出 / 欠
薩摩川内市役所	[redacted]	出 / 欠	家族代　B 棟	[redacted]	出 / 欠
網津公民館長	[redacted]	出 / 欠	西部消防署	[redacted]	出 / 欠
網津中自治会長	[redacted]	出 / 欠	施　設　長	*下名　照代*	出 / 欠
民生委員(水引地区)	[redacted]	出 / 欠	事　務　長	*下名　浩介*	出 / 欠
水引コミセン会長	[redacted]	出 / 欠	主　　任	*安藤　友幸*	出 / 欠
民委員（網津町）		出 / 欠	副 主 任	*太田　栄子*	出 / 欠
健やかアドバイザ	[redacted]	出 / 欠			

1、 入居者の状況

	令和4年5月		令和4年6月		令和4年7月		令和4年8月		令和4年9月		令和4年10月		令和4年11月		令和4年12月		令和5年1月	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護1	93	3	91	4	63	3	62	2	61	3	63	3	90	3	94	4	93	3
介護2	62	2	60	2	63	3	62	2	4	1	10	1	0	0	0	0	0	0
介護3	217	7	210	7	233	8	248	8	250	9	252	9	270	9	285	10	269	9
介護4	124	4	120	4	139	5	124	4	150	5	155	5	150	5	141	5	155	5
介護5	62	2	57	2	58	2	62	2	60	2	62	2	30	1	31	1	31	1
計	558	18	538	19	556	21	558	18	525	20	542	20	540	18	551	20	548	18
平均介護	3.00		2.89		3.00		3.11		3.10		3.10		3.06		2.95		3.06	
稼働率	100.0%		99.6%		99.6%		100.0%		97.2%		97.1%		100.0%		98.7%		98.2%	
平均利用	31.00		28.32		26.48		31.00		26.25		27.10		30.00		27.55		30.44	
									介1　1日 介3　10日		介3　4日				介1　1日 介3　6日			

12 月は入院が 1 名あったため(2 日～17 日まで)、ショートステイ 2 名を受け入れた。その為、実人数が 20 名となり、稼働率が 98.7%となった。1 月は骨折で 10 日間の入院があり稼働率が 98.2%となっている。1 月の平均介護度が 3.06 となっているが、介護更新で介護 2 から介護 3 に変更になった方が 1 名おられるが、日常生活動作は一部介助できている。

１、入居者の状況について

（ 8 ）　良　好

（ 0 ）　普　通

（ 0 ）　努力が必要

（ 1 ）質問事項

[redacted]委員→入居者の実人数が 18～20 人とありますが定員が定めてありますか?

施設長→定数は 1 ユニット 9 名です。2 ユニットありますので定数は 18 名となります。20 名の月は入院で空いた部屋を利用して短期入所を 2 名受け入れた為 20 名となっていますが通常は 18 名です。

[redacted]委員→実人数が 20 名となる月もあり、業務量は増す事に。しかし常に利用者の立場にたって受け入れているという状況が感じ取れます。

2、入退所状況

（退所）

・2 月 6 日　M 様　（歳、女性、介護度 1）　→　認知症専門病院に入院

認知症専門病院から入所されたが、施設の庭を歩かれ、外の景色や車、人の行き来を見てご主人が迎えに来る、来ている等の妄想が強くなり、また排泄を庭でされる等不安症状が強くなり入院されていた専門病院に相談し再入院となった。

（入所）

・2 月 7 日　H 様(93 歳、女性、介護 1）→　サービス付き住宅

2、入退所について

（ 7 ）　良　好

（ 1 ）　普　通

（ 0 ）　努力が必要

（ 1 ）質問事項

委員→入居希望者は何名ぐらいでしょうか?

施設長→2 月時点で 4 名です。

委員→2 月 6 日に入所の女性の方は、文面より軽度の認知症ではなく重度ではと思います。それでも「介護 1」なのでしょうか。状態把握し専門病院に相談され再入院も適切な対応ができるグループホーム鹿野苑なのです。

施設長→私たち職員も入居者を受け入れたらご本人の意向を大切にして支援を行っていますが、全ての認知症の方に対応出来たらいいのですが、残念ながら介護だけでは限界がある方もおられ医療対応が必要になる方もおられます。グループホームや自宅で使用できる薬の量は制限があり入院治療が必要になる方もおられます。認知症の状態により専門医受診が必要な入居者は早めに受診し専門医との連携を図っています。

３、入所申し込み状況

入所申し込み　4 名・状態確認は終了

3、入居者の状況について

（8 ）　良　好

（ 0 ）　普　通

（ 0 ）　努力が必要

（ 1 ）質問事項

委員→入所申し込み後入所までの期間を教えて下さい。

委員→入所される方はコロナ抗原検査を行って入所者に感染しないように。

委員→4 名の申し込み者、申し込んでからどのどれくらい待たれるのでしょうか?

施設長→入所までの期間は、特別養護老人施設入所や看取り、専門医病院への入院等が生じて空床が生じなければ空床が生じないため入所までの期間はどれくらいと言えません。グループホームはなかなか空床が生じなく、待機期間はどれくらいとは言えません。

４、前回の取り組みの結果

(A 棟)

・感染対策を行い、体調管理に気を付けながらできる限りの野外活動、寒い日の苑内活動の工夫。

A 棟の利用者が落ち着ついている為、B 棟の支援に行けるように声かけ・連携を行う。

↓

1 月に年始を避けドライブに行き買い物を実施する事が出来た。小人数での支援になったが入居者に少し笑顔や「久しぶりだね」の声が聴かれ喜ばれた。

B 棟への配慮は、洗い物、食事の準備等声かけを行いながら行えていた。

感染対策は、感染症に対しての勉強会・研修参加等を行っているが、実際、現場で感染症が起こると、ゾーニングや業務内容や、食事、排泄等利用者の対応をどうするか等、考える事が多かった。

感染力の強さから、職員の動向等様々な状況での判断が試されているようで、自分達の闘いでもあり、自分や利用者を守る事の大切さを強く感じられた 2 月

(B 棟)

・10 月 31 日に入居された入居者様は職員同士で情報を共有し、苑での生活に適応できている様子。言葉をハッキリ言われる特性がある為、他の入居者とトラブルがないように留意し、又歩行が不安定で、杖忘れ等転倒等のリスクを回避できるように注意してケアを行う。コロナウイルス感染が増加傾向にある為、外出の際は感染対策を十分考慮し行う。又、職員がウイルスの持ち込みがないように十分気を付ける。寒くなる為、苑内での活動を工夫して楽しんでもらう 。

↓

10 月 31 日に入所された利用者様は苑の生活に適応され、他利用者様やスタッフとも交流ができ冗談を口にされる事もある。言葉をハッキリ言われる方なので、言葉が強い時は職員が介入してトラブルにならない様にしている。

活動の工夫では、切り干し大根作りや漬物作りに取り組んだ。

コロナ感染予防対策には十分配慮していたが、A 棟の入居者が感染し、拡大した。感染発覚前に苑内での職員の行き来があった為、2 月 11 日に 2 名の利用者の感染、その後 5 名の利用者が感染した。

4、前回の取り組み結果について

（７） 良　好

（０） 普　通

（０） 努力が必要

（１）質問事項

[redacted]委員→いつ終わるか分からないコロナ禍においての介護は「利用者を守る事、又状況の判断、自分達の闘いでもある」と述べられている通りで、その大変さが重く伝わってきました。

コロナ感染の対応も徹底された取り組みで安心しました。

[redacted]委員→感染防止の取り組みを徹底することが必要ですね。(難しいとは思いますが)

施設長→職員の感染対策は感染委員会を中心にかなり厳しく行っていました。職員は私生活まで注意していましたが、今回コロナ感染が発生し職員事態が驚いて、自分達はこれ以上どうすればいいのだろとの声も上がっていました。今回の感染を総括した結果、マスク着用して病院受診を実施していましたが、病院の車椅子使用時消毒をして使用していませんでしたので、今回の感染から学びできる限り感染対策を行っていく所存です。

現在の課題

(A 棟)

・コロナ終息後、日々の活動を少しつ取り戻し、笑顔を取り戻し、認知機能の状況把握をする。筋力　　維

持のリハビリテーションを実施し日常を取り戻す。感染対策についての反省を、委員会を中心に行う。

(B 棟)

・感染症の予防や利用者の様の健康状態をこまめに把握し、A 棟の職員と情報を共有し連携を取りながら支援を行っていく。職員会で研修は行ったが、今回の感染から、感染力が強く症状が出る前に感染しており、感染症の怖さを思い知らされた。今後も再度感染防止を徹底して、A 棟、B 棟共に 3 原則(持ち込まない・広げない・持ち出さない)、感染予防の方法、発生後の対策を再確認し、今回の感染拡大で課題となった事を上げ勉強会を行い再発防止に努める。

・2 月 7 日に入所された入居者様は、入居後数日でコロナ感染拡大が起きて入居者全員が居室隔離となり他者との関わりがなく「話す人がいない」と言われ、スタッフの声かけにも拒否され頑固な性格の為、苑の環境に応できるように工夫を行い支援する。

現在の取り組みと課題について

（８） 良　好

（０） 普　通

（０） 努力が必要

（１ ） 回答なし

[redacted]委員→感染対策に対しての反省をし、日常生活をとりもどせる精一杯の努力が伝わってきます。

５、活動実施内容

活　　動	A　棟		B　　棟	
ドライブ	1 月 18 日	川内市内めぐりドライブ	1 月 3 日 2 月	西方(兎のオブジェ見学) 未実施
買い物	1 月 18 日 1 月 23 日	プラッセ大和パン購入 あまつや(卵むっかん購入)	1 月 31 日	﨑山商店(団子を買いに行く)
外　　食	1 月 28 日	テイクアウト(ダンディライオン)	1 月 28 日	テイクアウト(ダンディライオン)
夕食作り	1 月 8 日 1 月 17 日	野菜いため ポテトサラダ	1 月 8 日 1 月 28 日	ひじきの煮物 味噌汁、スパゲティサラダ、シチュー
おやつ作り	1 月 5 日 1 月 14 日	さつまいもケーキ 誕生日ケーキ	1 月 7 日 1 月 20 日	誕生日ケーキ 餃子のでピザ作り
全体活動	お寺参り	1 月 15 日　2 月はコロナ感染の為中止		
	生け花	1 月 13 日、27 日　　2 月はコロナ腺で実施出来ず		
	野外活動			

※切干し大根作り、干ししいたけ作り

５、活動実施について

（８） 良　好

（０） 普　通

（０）努力が必要

（１ ） 回答なし

[redacted]委員→体を動かす(活動)努力にいつも取組まれ有難いです。

>

6、個別ケア

・職員が利用者と個別に一対一で 1 時間から 1 時間 30 分の活動を行う活動で 2 カ月に 1 回実施している。

A　　棟		B　　棟	
1 月 2 日	E 様　書初め	1 月 8 日	T 様　新田神社参り
1 月 13 日	EM 様　ドライブ	1 月 22 日	F 様　イラストを描く
1 月 15 日	N 様　フットケア	1 月 22 日	FF 様　野菜炒め作り
1 月 22 日	NA 様　西方海岸にドライブ	1 月 29 日	IM 様　自宅までライブ
1 月 29 日	K 様　町の見学、買い物(ドライブスルー		

6、個別ケアについて

（８）　良　好

（０）　普　通

（０）努力が必要

（１　）　回答なし

7、日常生活機能向上リハビリテーション

１月５、１２、１９、２９、　　２月２、９日

2 月はコロナ感染拡大し中旬以降は実施する事が出来なかった。

７、日常生活向上リハビリテーションの実施

（５）　良　好

（3）　普　通

（　0）努力が必要

（　1）回答なし

[redacted]委員→桜の季節になります。コロナも下火になりました。野外活動をお願いします。

[redacted]委員→コロナ感染で中旬以降は中止との事。早く日常に戻れますように。

8、職員研修

月　　日	研　修　名	区　分	人　数
1 月 26 日	・看取りについて(グリーフケア)	施設内研修	21 名

※2 月の施設内研修は中止。2 月の施設外研修予定の 2 名も受講出来なかった

8、研修について

（６）　良　好

（2）　普　通

（０）努力が必要

（１）回答なし

[redacted]委員→コロナ禍での対応の厳しさを感じます。

9、職員の動向

なし

９、職員の動向

（４）　良　好

（2）　普　通

（１）努力が必要

（２）回答なし

10、地域との交流

なし

１０、地域との交流

（２）　良　好

（3）　普　通

（１）努力が必要

（３）回答なし

[redacted]委員→もう少しコロナが落ち着かないと地域との交流は難しいかな。

11、身体拘束委員会報告

別紙参照

１２、その他

・2 月 7 日、A 棟の入居者 1 名がコロナ抗原検査で陽性が出た。主治医と家族に報告すると同時に、職員全員と A 棟入居者全員の抗原検査を実施した。結果は陰性であったがゾーニングを実施した。翌日入居者に微熱の方がおられ、再度、全員に抗原検査実施した。結果 1 名の入居者を除き全員が陽性であった。その後、職員に感染し、クラスター発生となった。職員は症状が軽減した時点で勤務に戻り、利用者の支援には問題は生じていない。1 名感染していない利用者がいる為、今後も感染を起こさない様に感染対策を行っていく。B 棟は A 棟発生時にゾーニングを行い感染拡大しない様に努めたが、11 日に 2 名、12 日に 5 名、14 日に 1 名と 7 名の利用者が感染した。いずれも主治医と家族には連絡を行っている。・

・A 棟の隔離解除は 2 月 19 日、B 棟は発生日がずれている為、2 月 23 日に隔離解除を行う

・10 日以上の隔離生活で筋力低下が考えられる為、日常生活動作には十分注意し配慮を行い支援を行う。

・今回の感染症は持ち込みと思われるが、職員は全員抗原検査を実施し陰性であり感染経路が特定出来ていない。

・感染拡大した事を真摯に受け止め、感染防止や、感染時の課題を全職員で精査し、今後の感染防止に繋げていきたい。

１１、その他についてのご意見

[redacted]委員→職員の方々の仕事の量を軽減するためにもロボット介護の導入はお考えでしょうか?

施設長→ロボットの導入も検討はしましたが、認知症対応型の施設で入居者は私たち職員が予測不可能な行動が見られる事もあるためロボットでの対応はかなり厳しい面があります。

[redacted]委員→コロナ陽性でしたとの連絡があった時とても心配したのですが、施設の皆さまがしっかり対応して頂き入院する事もなくホットしました。ありがとうございました。

[redacted]委員→全員の抗体検査を実施して陰性だったのに、翌日検査を実施したら全員陽性になるとは感染症の怖さを感じます。今後も感染予防の徹底をお願いします。

[redacted]委員→色々大変ですけど頑張れ。

１２、その他お気づきの点、疑問等忌憚ないご意見をお願いします。

[redacted]委員→入居者の新型コロナ感染で大変ご心配であったと思います。

3 月にはマスク緩和や 5 月には感染レベルの格下げが周知される中、施設としてどのような対策を取っていけばいいのか十分検討していく必要があると思われます。

新型コロナも普通の病気感が強くなったとはいえ高齢者への感染した場合のリスクは以前高い状態である事は変わりなく、心配が尽きないと思われますが、今後職員同士や他の施設等と十分情報共有を図って、コロナ対応のこれからを検討してください。

[redacted]委員→職員の挨拶が皆な素晴らしい。

[redacted]委員→デイに行かれる方とよく合いますが、とても楽しい・友達と話ができてうれしいと言っておられます。こっちまで元気が出ます。

[redacted]委員→コロナ感染拡大、本当に大変だったとお察しいたします。母の生涯は戦争・子どもの死・病気と大変でした。人生の最終章の 9 年近くをグループホーム鹿野苑で穏やかに過ごさせて頂きただただ感謝の気持ちでいっぱいです。心からお礼を申し上げます。ありがとうございました合掌。

施設長→貴重なご意見や励ましを頂き本当にありがとうございます。これからコロナ感染の動向を見据えて感染対策の在り方を検討しながら様々な活動を実施して入居者の笑顔が見られるように努力を行っていきます。